



小坂国繼教授近影

小坂国継先生の定年退職にあたって

日本大学経済学部長 小 椰 治 宣

小坂先生は、昭和54年4月に日本大学国際関係学部の専任講師として着任されましたが、昭和58年4月より本学部には助教授として教壇に立たれることになりました。その後、定年を迎えられるまでおよそ30年に亘り、本学部の専任教員として学生の教育に携われました。長い間本当にありがとうございました。

小坂先生のお人柄を一言でいえば、温厚で寡黙と言えるのではないのでしょうか。いつも物静かに何か考えに耽っていらっしゃる、まさに哲学者といった雰囲気を感じさせます。また、たいへんな読書家のようです。研修旅行の折に、早朝まだ薄暗い時間からホテルのロビーで一人、読書されていた姿が印象的でした。

ここで改めて、小坂先生の経歴と職歴について簡単に紹介しておきましょう。昭和18年、愛媛県でお生れになり、地元の中学・高校を卒業の後、昭和37年4月に早稲田大学第一文学部哲学科に進学され、同大学を昭和41年4月に卒業されました。その後、同年4月、同大学大学院文学研究科修士課程に進学し、昭和43年3月に同大学院を修了されました。さらに、昭和43年4月に同大学院文学研究科博士課程に進学、昭和46年3月に修了（満期退学）されています。

大学院在学中の昭和43年4月に早稲田大学文学部の副手として採用され、教育研究者の道を歩まれることになりました。昭和46年以降は、千葉商科大学をはじめ東海大学、日本大学などで非常勤講師も務められました。その後、昭和54年4月に、日本大学国際関係学部の専任講師に就任され、助教授に昇格されました。そして、昭和58年4月に本学部にも助教授として着任され、昭和61年4月、教授に昇格されてもいます。また、本学部にて在職中の平成9年に、「西田哲学の研究」で博士号（文学）を取得（早稲田大学）されました。定年を迎えられるまで学部の授業では、哲学、現代思想、教養研究（ゼミナール）、研究論文（卒論指導）、基礎研究などをご担当いただきました。

小坂先生は、教育活動のかたわら、日本宗教学会や歴史思想学会に所属され、評議員や理事などを歴任されています。また、西田哲学会ではいまなお理事を務めておられます。その他にも、日本思想史学会、東西宗教交流学会、日本環境共生学会など多くの学会に所属され、研究者として活発な学会活動をされてきています。

また、小坂先生は、学内での行政活動では、在職期間中、学生生活委員会、国際交流委員会、企画委員会、研究委員会、学務委員会の副委員長の他に、図書館長などを担当され、学部運営に多大な貢献をされました。さらに、研究面での活躍にも特筆すべきものがあります。「研究業績一覧」に記されておりますように、単著、共著を問わず、多数の研究論文や著書を執筆され、その内容は西田哲学を中心として、倫理、宗教、環境など幅広い分野に関するものです。業績の多さ、質の高さは、研究者としての「プロ意識」のようなものを感じさせます。

小坂先生の今後ますますのご健勝とご活躍を祈念申し上げて、巻頭の辞といたします。